

令和 2 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 元 年度実施事業)

事業名	水産振興事業			事務事業コード	3131-1
担当	経済 部	農政 課	農業生産振興 係	事業開始年度	平成 16 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠			
管理方法	通常				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	3.力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり
	節	1.豊かな自然を生かした農林水産業の振興
	施策	3.水産業
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市内で生産される養魚(佐久鯉・水田鮒・シナノユキマス等)を商業・観光業と連携し、多面的な振興を図る。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・佐久鯉の消費拡大(新たな食べ方の提案による幅広い年齢層への普及推進等) ・水田鮒の生産拡大(水田鮒の後継者育成、水田鮒の生産活動のPR等)	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		平成 30 年度		令和 元 年度		令和 2 年度	
コスト	事業費	3,080		3,993		4,575	
	人件費	0.40 人	2,600	0.40 人	2,680	0.40 人	2,680
	非常勤職員等	時間		時間		時間	
	人件費合計	2,600		2,680		2,680	
	総事業費	5,680		6,673		7,255	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	2,570		2,704		2,571	
	一般財源	3,110		3,969		4,684	
	財源合計	5,680		6,673		7,255	

平成 元 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久養魚消費拡大委員会の開催 ・水田フナ養殖技術研修の開催 ・市内養殖可能水田調査の実施
-----------------	---

活動指標	単位		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度
佐久鯉を使った新しいメニュー開発	品	実績	2	3	
		目標	2	3	3
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
新メニューの試食者数	人	実績	300	255	
		目標	300	500	500
	%	達成率	100%	51%	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久平調理師会等の協力により、鯉の新しいメニューを提案いただくことができたが、農業祭等が中止になったことにより、一般お方の試食が開催できなかった。 ・水田鮒の生産拡大については、29年度より市主催の水田鮒養殖技術研修会を開催し、新たに6名が生産技術の習得を図ることができた。 また、鮒の水揚げ状況の見学会には、9名の方が参加された。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	<p>鯉及び鮒などは市内の水産業の主要な品目であることとともに、本市の代表的な食文化の一つとなっていることから、市が積極的に関与する必要がある。</p> <p>佐久鯉の新しい食べ方については、新規メニューを料理店などで提供をしていく必要があるため、調理師会など関係団体などと連携し取り組む必要がある。</p>
事業の課題	鯉食文化の衰退と水田鮒生産者の高齢化等により市内水産業の基盤が弱体化している。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	手法等の見直し	期間・時期	平成	年度	～	平成	年度
今後の取組方針	<p><課題に対する解決策、取組み方針等を記載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐久鯉の消費拡大については、佐久養魚消費拡大推進委員会に諮りながら新しい食べ方の普及に努め、市内飲食店によるメニュー提供が恒常化できるようにしていく。 ・首都圏に向け、佐久鯉を中心に佐久の養殖魚のPR活動を行っていく。 ・水田鮒養殖技術研修については3年間の研修期間が過ぎたことから、いったん休止し、今後の状況を見ながら、市による事業を再開するか判断する。 						